| 学校番号 | 209 |
|---|---|

令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史科 | 科目 | 日本史探究 | 単位数 | ４単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 山川　日本史探究 | | | | | | |
| 副教材等 | 日本史のライブラリー | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ➢ 歴史という時間軸を感じるため、歴史の流れや時代背景を意識した授業を行います。
- ➢ 歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付こう。
- ➢ 日本史を多面的・多角的に理解するために、世界史・地理との関連を重視します。
- ➢ 生徒の視点での素朴な疑問や生活感覚に即した疑問に主体的に取り組んでいきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の伝統と文化の特色についての認識を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
現代の社会やその諸課題は、地理的歴史的に形成されたものであることを理解し、歴史的思考力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
これからの国際社会に主体的に生き、平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 日本の歴史全体についての基本的な事柄を、地理的条件や世界の歴史との関連付けを一層重視して理解し、その知識を身につけている。 | 現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 歴史を学ぶ意義に気付き、日本の歴史全体に対して関心をもって意欲的に追及し、今後の国際社会や日本社会を形成していく自覚をもって考える態度を身につけているか。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 原始・古代 | ・原始社会の生活と文化<br>・農耕社会の形成と大陸文化の摂取 | a:原始時代の特色、日本文化の黎明と大和王権や古墳文化の特徴をよく理解して、その知識を身につけている。<br>b:原始社会や古代国家の成立や変質、各々の時代の社会や文化の特色について東アジア世界からもたらされた文物・諸制度が、その地理的条件も重なって我が国の国家や文化の形成に大きな影響を及ぼしたことを考察・表現できている。<br>b: 必要な諸資料を収集、分析し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>c: 更新世から古墳時代までの日本の歴史の歩みと、日本の自然環境や大陸文化の伝播にも着目して関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 | 定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | 提出物 |
| 2 | 中世 | ・中世社会の成立 | a:中世社会の政治や文化の特色について、国際環境や地理的事項と関連付けて多面的・多角的に理解している。<br>b: 武士の土地支配と公武関係、宋や元との関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察できている。<br>c: 古代律令体制が変貌し、中世的な国家体制となった背景にある荘園制、宗教勢力の拡大、武家・公家・寺社などが権力を分有する多様性などに関心をもつことができる。 | 定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | 提出物 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 中世／近世 | ・武家社会の形成と東アジア<br><br>・ヨーロッパ文化との接触と国内統一 | a: 室町時代や戦国時代の主な特徴や日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の特色をよく理解して、その知識を身につけている。<br>b: 中央政権である室町幕府が徐々に弱体化し、中世社会がどのように展開・変貌し今日とのつながりが深い近世社会の特色が現れてきたかを考察・表現できている。<br>c: 鎌倉幕府滅亡から室町幕府成立、庶民の台頭と下剋上など中世社会の多様な展開に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 | 定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | 提出物 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度